

「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案

2年	教科	体育	指導者	日田 育夫
単元名・題材名	陸上競技「短距離走・リレー」		時	2 / 全 5 時間
本時のねらい	<p>A 「走者」と「次走者」のスピードを落とさないスムーズなバトンパスについて、</p> <p>B 2人で走る40m走を見直し、自他の課題を考察する活動を通して</p> <p>C ポイントや取り組み方の工夫を相手に伝えることができるようにする。</p>			
本時の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	【評価の方法】
	【評価規準】 スピードを落とさないスムーズなバトンパスができるためのポイントや取り組み方の工夫を相手に伝えている。			行動観察、ビデオのチェック ふり返しシート(ロイロで提出)
展開	めあて	スピードに乗ったバトンパスができるコツをペアに伝えよう。		
	課題	どんなポイントを相手に伝えるとタイムが縮まるかな。		
	課題 (めあて) 提示後の 問題解決の 流れ	<p>【課題(めあて)提示後の問題解決の流れ】</p> <p>(個の思考及びペアの思考 タブレットで録画した1回目の試走を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇さんは、ずっと後ろ向いて私の方を見ているよ。だからスピードが遅くなっちゃう。</li> <li>・△△さんも、私が後ろ向いているからスピード緩めているね。</li> <li>・じゃあ、このラインに来たらスタートするって場所を決めよう。</li> <li>・わかった。やってみよう。</li> </ul> <p>(個の思考及びペアの思考 タブレットで録画した2回目の試走を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタート位置が遠すぎたね。バトン渡せなかったよ。</li> <li>・もう少し、前にしたほうがよいかもね。</li> </ul> <p>(他グループの試走を見て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・◆◆さんたちみたいに、走者が「ゴー」って声出すの真似してみたいね。</li> <li>・パスの渡し方も僕たちは上からだけど、◆◆さんたちは下から渡してるね。</li> <li>・そうだね。それも真似してみよう。</li> </ul> <p>(3回目試走)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今度はスピード落ちなかったぞ。</li> <li>・タブレットで確認してみよう。</li> </ul>		
	まとめ	<p>○スタート位置を決めるとよい。そのためには何回か走ってみてベストな位置を伝え合えばよい。</p> <p>○走者が次走者にスタートするタイミングを声に出して伝えるとよい。</p>		
	振り返り	他のチームの走りを見てよいと思ったところを取り入れようとペアにアドバイスできた。		
「C:努力を要する」 状況の児童生徒への 手立て	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】(場面・方法 等)		
	バトンを落とす 後方を見てしまいスピードに 乗れない。	やりやすい(落としにくい)バトンパスを考えさせる。 他チームのよいところを見るように伝える。		